

中部学院大学では、下記の研究を実施します。

本研究は、過去に行われた臨地実習において得られた記録等を用いて、看護実践を後方視的に検討する研究です。研究対象となる方はすでに亡くなれており、研究のために新たな診療や検査、面接等を行うことはありません。

本研究について、研究対象者本人またはご家族等が、研究に情報を利用されることを望まれない場合には、下記の問い合わせ先までお申し出ください。

1. 研究課題名

残存機能に着目した関わりと患者・家族の変化
—緩和ケア病棟における一事例—

2. 研究の目的

身体機能が低下した終末期患者に対し、患者がその時点で自力で行うことのできる動作や、自ら選択・決定できる事柄などの「残存機能」に着目した看護実践について検討します。

患者の発言や看護者の観察、家族との関わりの経過を整理し、残存機能に着目した関わりを継続する中で、患者の語りや家族との関係性にどのような変化がみられたのかを明らかにすることを目的とします。

本研究では、過去の一事例における看護実践を現在の看護学的視点から振り返ることで、身体機能が低下した患者の自己尊重感や尊厳を支える看護実践について検討し、今後の看護実践や看護教育に活用できる知見を得ることを目指します。

3. 研究対象者

過去に臨地実習において研究者が関わった患者 1 名を対象とします。対象となる患者は、2007 年に緩和ケア病棟で療養していた方です。

4. 研究期間

研究倫理審査委員会の承認日から 2026 年 12 月 10 日まで

5. 研究の方法

当時の臨地実習等で得られた既存の情報を後方視的に整理します。

研究に使用する情報は、以下のとおりです。

- 看護記録
- 患者の発言
- 家族の発言
- 看護者の観察記録
- 看護実践およびその経過に関する記録

これらの情報を時系列に沿って整理し、残存機能に着目した看護実践と、患者の語りや家族との関係性の変化について事例として検討します。

なお、本研究のために新たな診療、検査、採血、面接等を行うことはありません。

6. 研究に使用する情報の取り扱い

研究に使用する情報は、研究目的の達成に必要な最小限の範囲とします。

研究成果を学会発表や論文等で公表する際には、患者本人やご家族が特定されることのないよう、十分に配慮します。

患者は「A 氏」と表記し、氏名、住所、生年月日、医療機関名、病棟名、職業、家族の氏名、具体的な日付など、個人を特定する可能性のある情報は公表しません。

また、年齢の表記や患者・家族の発言については、研究の趣旨を損なわない範囲で表現を変更する場合があります。

7. 予想される利益・不利益

本研究は既存の情報をを用いて行うため、研究対象者本人に直接的な利益はありません。また、研究のために新たな診療や検査等を行うこともありません。

一方、過去の病状や看護経過、患者・家族の発言等を研究成果として公表することにより、患者本人やご家族が特定される可能性があります。

そのため、個人が特定されることのないよう情報を慎重に取り扱い、研究目的に必要な最小限の情報のみを使用します。

8. 研究成果の公表

研究成果は、国内学会での発表および学術論文等で公表する予定です。

公表に際しては、患者本人およびご家族等の個人情報やプライバシーの保護に十分配慮します。

9. 研究への情報利用を望まれない場合

本研究にご自身またはご家族に関する情報を利用されることを望まれない場合には、下記の問い合わせ先までお申し出ください。

お申し出いただいた場合には、研究の進行状況等を確認のうえ、可能な範囲で研究対象から除外します。ただし、学会発表や論文等で研究成果をすでに公表した後は、情報を取り除くことができない場合があります。

研究への情報利用を望まれない場合でも、ご家族等が不利益を受けることはありません。

10. 研究倫理審査

本研究は、中部学院大学・中部学院大学短期大学部研究倫理審査委員会の審査を受け、承認を得た上で実施します。

11. 研究機関名及び研究者氏名

研究機関 中部学院大学 看護リハビリテーション学部 看護学科
研究責任者 教授 岩崎 美幸

研究分担者 准教授 野田 明敬

12. 問い合わせ先

〒501－3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地

中部学院大学総合研究センター

電話:0575－24－2238

E-mail: cgrd@chubu-gu.ac.jp